

令和7年度 第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）議事録

1 第1回 学校運営協議会

- (1) 日 時 令和7年6月7日（土） 午前10時～12時
- (2) 場 所 静岡県立稲取高等学校 応接室
- (3) 出席者 学校運営協議会委員6名、学校関係者4名 計10名

2 会議内容

- (1) 学校運営協議会の委嘱および会長・副会長の選出
- (2) 令和6年度学校経営報告書（自己評価）および令和7年度学校経営計画書について
校長より、令和6年度の学校経営報告書と令和7年度の学校経営計画について説明があり、それに対して意見交換がなされた。

・教員の勤務時間の適正化および負担軽減を積極的に進めてほしい。また、可能であれば学校運営協議会としてこのことに協力したい。

- ・「基本的な生活習慣の確立」は社会人としても重要であり、丁寧な指導を期待する。
- ・習熟度別授業の実施や、学習プラットフォームの活用に向けた個別最適化の学びについては、研究を継続してほしい。
- ・探究活動等においては、地元自治体と資金面も含めた協力体制を検討していきたい。

(3) 学校の現状・生徒の様子について

学校長から現状報告があり、それに対して以下の意見が出された。

・文化祭のポスターデザインが非常に良かった。日程をQRコードで確認できるようにするなどの工夫を提案したい。

・1年生の静岡大学訪問や、2年生の大学・専門学校訪問を通して、将来の生き方を考える良い機会としてほしい。勉強を頑張っている同世代や社会人の姿を知ること、生徒が刺激を受けているようだ。

・電車内でタブレットを使って学習する生徒の姿を見かけ、時代の変化に応じた教育が実践されていると感じた。

・「あったかふえ」のような企画は非常に良い取り組みだが、前回は来場者が多く一般の人が待たされる状況だったため、対応を検討してほしい。

・SNS等で積極的な情報発信がなされている。生徒が「楽しい」「うれしい」と感じている様子を今後も発信してほしい。また、SNSを活用していない世代にも学校活動の様子が届くよう、稲高だより等を地域の回覧板に入れることも検討してほしい。

・少子化が進む中で、中学校との連携をこれまで以上に強化してほしい。東伊豆町でも「垂直方向の教育」を研究しており、稲取高校は町にとって重要な教育機関であると認識している。